

「観光パワー」を世界へ発信 ビッグイベント相次ぐ大阪・関西で初開催

JATAと日本観光振興協会（JTTA）、日本政府観光局（JNTO）は7月9日、大阪市北区の大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）で、ツーリズムEXPOジャパン（TEJ）2019 大阪・関西開催概要発表会を行いました。

関西圏へ旅行者呼び込む起爆剤に

TEJ実行委員会の委員長を務めるJATAの田川博己会長は、TEJ2019 大阪・関



JATAの田川博己会長

大阪・関西をめぐる動き

- G20大阪サミット(2019年)
- 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録(2019年)
- ラグビーワールドカップ(2019年)
- ワールドマスターズゲームズ(2021年)
- 大阪・関西万博(2025年)

西々について、(1)世界各国・地域から観光行政のトップが参加する第3回観光大臣会合、(2)海外プランナーや国内プランナーなど



大阪観光局の福島伸一会長（左）と大阪商工会議所の中野亮一理事・地域振興部長

が参加する展示商談会、(3)シンポジウムやセミナーが実施されるフォーラムやジャパンツーリズムアワードなどのプログラムを通じて旅をカタチにするプロセスといった意義を強調しています。

TEJがスタートした2014年以来、初めて東京以外の開催地となる大阪・関西では、今年6月に20カ国・地域首脳会議（G20大阪サミット）が開催されたのに続き、今年秋にラグビーワールドカップ（RWC）、2021年にワールドマスターズゲームズ2021関西、さらに、2025年日本国際博覧会「大阪関西万博」の開催も予定されています。今年10月24日から27日までの4日間にわたって大阪市住之江区のインテックス大阪、ハイアットリージェンシー大阪で開催されるTEJ2019 大阪・関

西は、相次ぐビッグイベントによって世界から注目を集める大阪をゲートウェイとして、関西圏に旅行者を呼び込む起爆剤となる総合観光イベントへの期待が高まっています。

田川会長は、「G20大阪サミットで採択された『大阪宣言』でも、観光産業が世界のGDPの相当の割合を占め、引き続き世界経済の成長にとって重要な牽引役となることが見込まれる」という文言が盛り込まれた」と指摘。「G20大阪サミットと同じ会場で開催されるTEJ2019 大阪・関西を通じて、その観光の持つパワーを感じてもらえると思う」と、今年のイベントへの意気込みを示しました。

心強い地元財界や自治体の協力

TEJがスタートした2014年は、アウトバウンドとインバウンドを合わせた双方方向の交流人口は3031万人でしたが、昨年は、双方方向の交流人口は5014万人を数えるまでにな

2020年は沖縄県宜野湾市で開催 10月29日～11月1日までの4日間

来年の“ツーリズムEXPOジャパン 2020 沖縄”は、10月29日～11月1日までの4日間にわたり、沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションセンターと周辺施設で開催されます。

沖縄観光コンベンションビューローの下地芳郎会長(写真・右から

2人目)は、「東西1000キロ、南北400キロの海域の島々に、145万人が暮らす沖縄こそ、海洋ツーリズムを考える絶好の地」と強調しています。



主催3団体のトップと沖縄側の代表がガッツリ握手

りました。
田川会長は、「その成長ぶり
は世界が目にするものとなっ
ている」と紹介すると同時に、
「TEJも順調に成長し、国
連世界観光機関(UNWTO)が
世界の3大観光イベントとして認
めるほどになった」と強調。

6年目を迎えたTEJが

初めて東京を離れて、大阪・関
西で開催されることについて、
田川会長は「天の時」「地の利」
『人の和』が揃っている」と説明。
「G20大阪サミットに続く
RWC、ワールドマスターズゲーム
ズ、大阪・関西万博を世界にPR
するには絶好のタイミングであ
り、大阪・関西は西日本にアクセ
スできるゲートウェイとしての役割
を持つ」と指摘した田川会長は、
「何よりも、地元の鉄道会社や
財界、自治体の協力が手厚くて
心強い」と語り、「この3つが揃っ
た状態で順調に準備が進められ
ている」と言明しました。

新たなビジネスチャンス発見を

TEJ2019 大阪・関
西では、昨年が続いてTEJと
UNWTOの共催による第3回
観光大臣会合の開催が予定さ
れており、今年は大阪・関西から
「ツーリズムの今」が世界に向け
て発信されることとなります。

田川会長は、世界中から観光
のキーパーソンが集まるイベント

としてのTEJを象徴する
観光大臣会合について、「今年
はTEJ2019 大阪・関西
開幕直後の10月25日に、北海道で
日本政府の主催によるG20観
光大臣会合も開催されることか
ら、世界13カ国の観光大臣と国
際期間の代表が参加した昨年
を上回る数の各国観光行政トップ
が参加するものと見込まれる」と
期待を示しました。

また、展示商談会には、インバウ
ンド関連で世界32カ国374の
旅行会社とメディアが参加するほ
か、国内旅行と海外旅行について
も全国の旅行会社からプランナー
350人が参加する予定です。

田川会長は、「今年は例年のイ
ンバウンド観光ビジネス総合展に
加えIRゲーミングEXPOも
開催され、より多くの新しいビジ
ネスチャンスの発見につなげられ
る」と積極的な参加を呼びかけ
ました。

大阪・関西の魅力をも面的に訴求

大阪観光局の福島伸二会長は、
「大阪・関西での初めての開催と

なるTEJへの新たな出展者
数は80件に及んでいる」ことを紹
介し、「観光産業の裾野の広さを
再認識すると同時に、TEJ
に対する期待の高さをひしひし
と感じている」と強調。大阪・関
西らしさをアピールするため、「ス
ポーツ」「食」「ウェルネス」「笑いと
エンターテインメント」の4つのコン
セプトを掲げて、大阪・関西の魅
力を多面的にアピールする考え
を明らかにしています。

また、JR西日本、大阪メトロ、
阪急・阪神、近鉄、京阪、南海の
私鉄による「関西共同鉄道コー
ナー」や関西の大学を中心とした
「アカデミーエリア」などの展開
も計画されています。

大阪商工会議所の中野亮二理
事・地域振興部長は、「経済団体
として会員企業に出展しても
らい、観光産業への新規参入や
販路拡大の機会を広げたい」と
TEJ2019 大阪・関西へ
の期待を表明。中野理事による
と、各種メーカーや運送会社など
幅広い業種から18の会員企業が
出展する予定です。